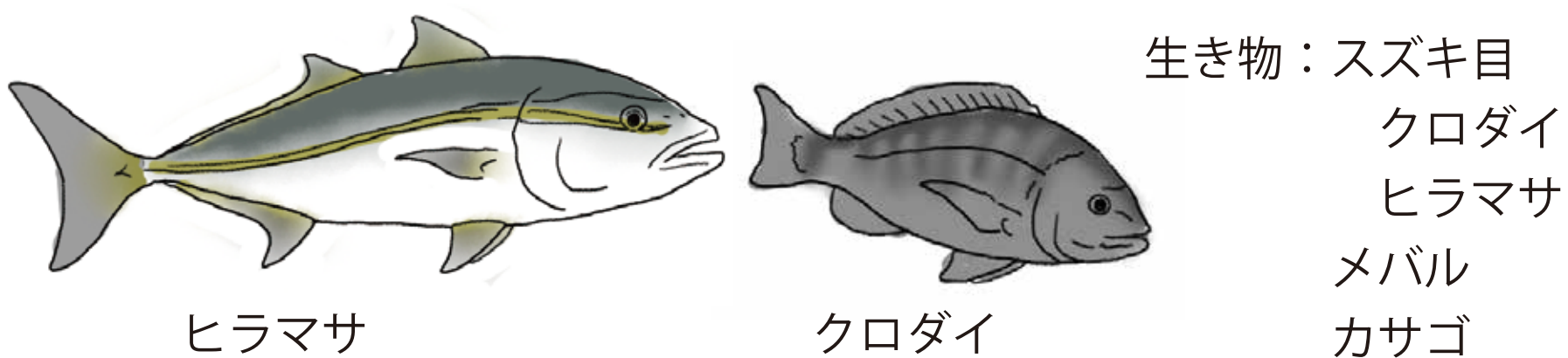
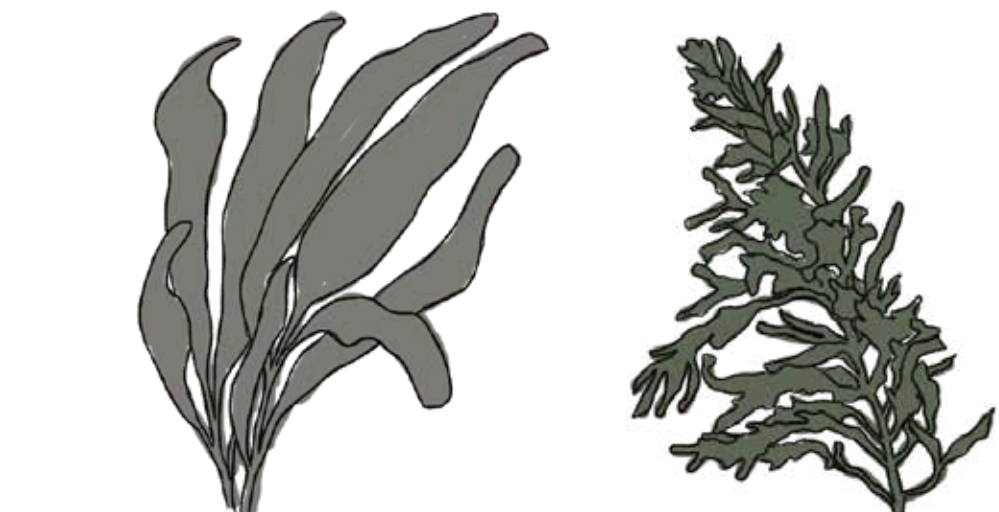


▲ダイビングで魚礁の生き物を観察する

魚礁 - 生態系と海中景観を育む消波構造体 -



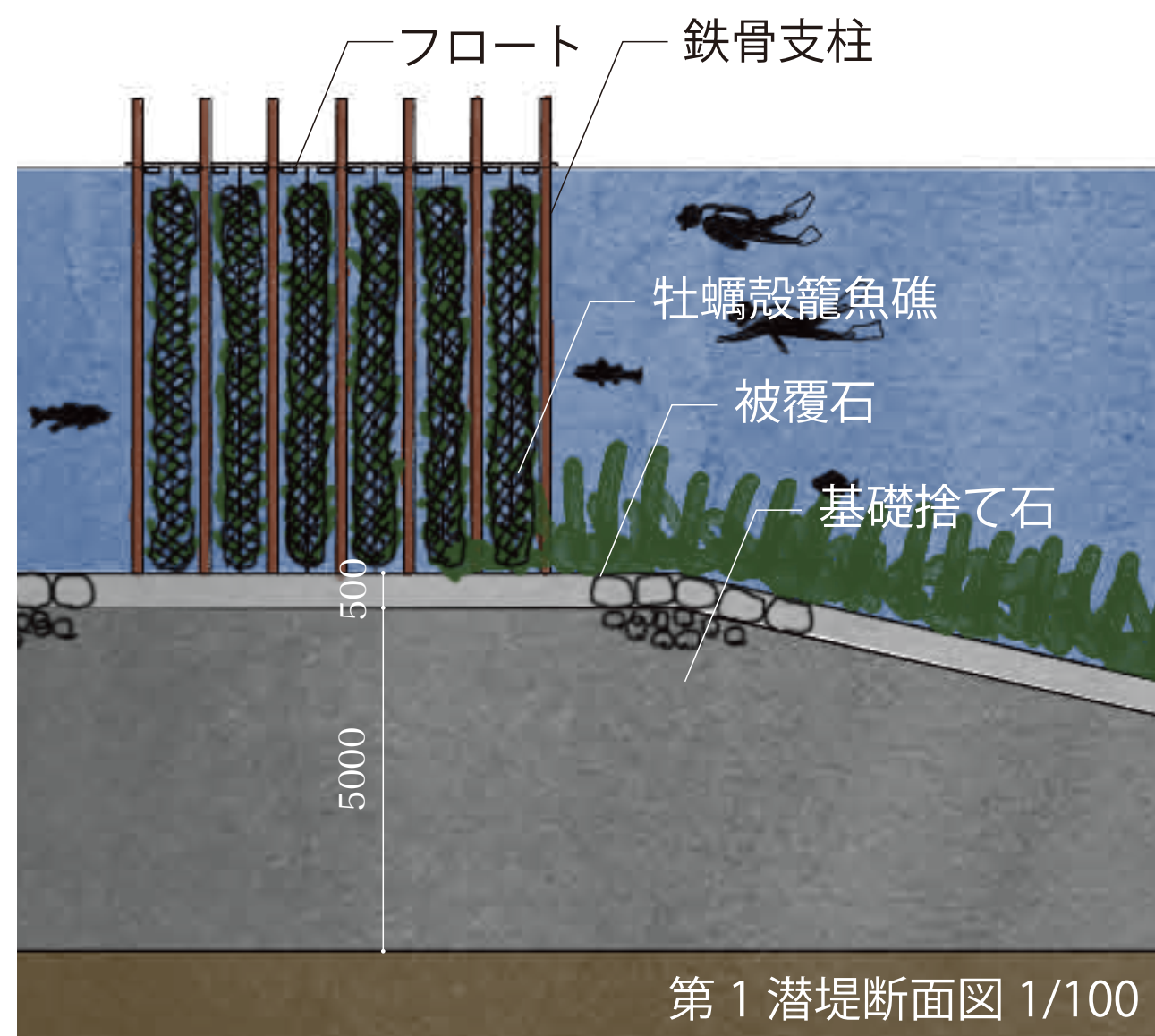
生き物：スズキ目
クロダイ
ヒラマサ
メバル
カサゴ



コンブ場：マコンブ
ホソメコンブ
ガラモ場：ノコギリモク
オオバモク

活動：ダイビングなどの
水中レジャー
水深：5~10m 程度

最も海側の第1潜堤と人工魚礁で、大きな波を発散させる。十分な水深と穏やかな水中環境が共存し、海の生態系を育み、ダイビングなどの水中レジャーを楽しむ。

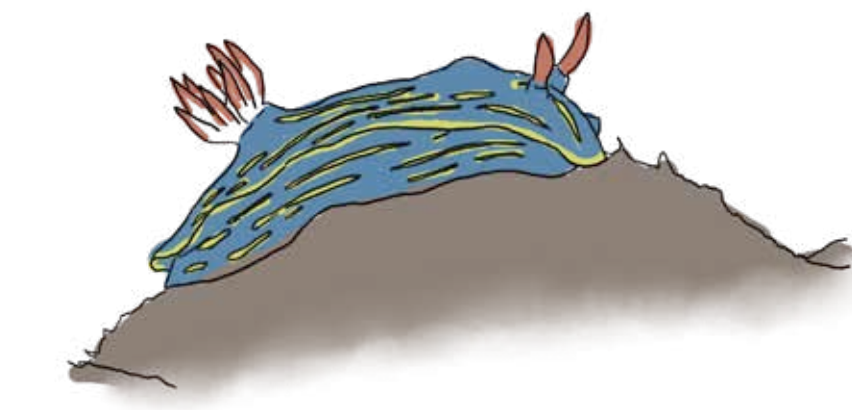


第1潜堤断面図 1/100

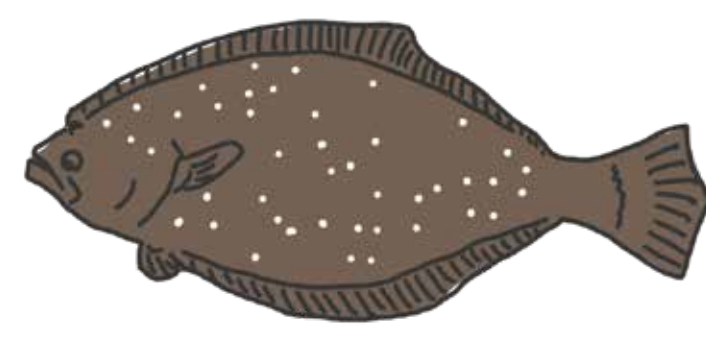


▲船の上から藻場の生き物を観察する

藻場 - 海の揺籠、海のカーテン -



アオウミウシ



ヒラメ

生き物：アカエイ
コチ
ヒラメ
カニ類

ウミヘビ
ギンポ
エビ類
異尾類

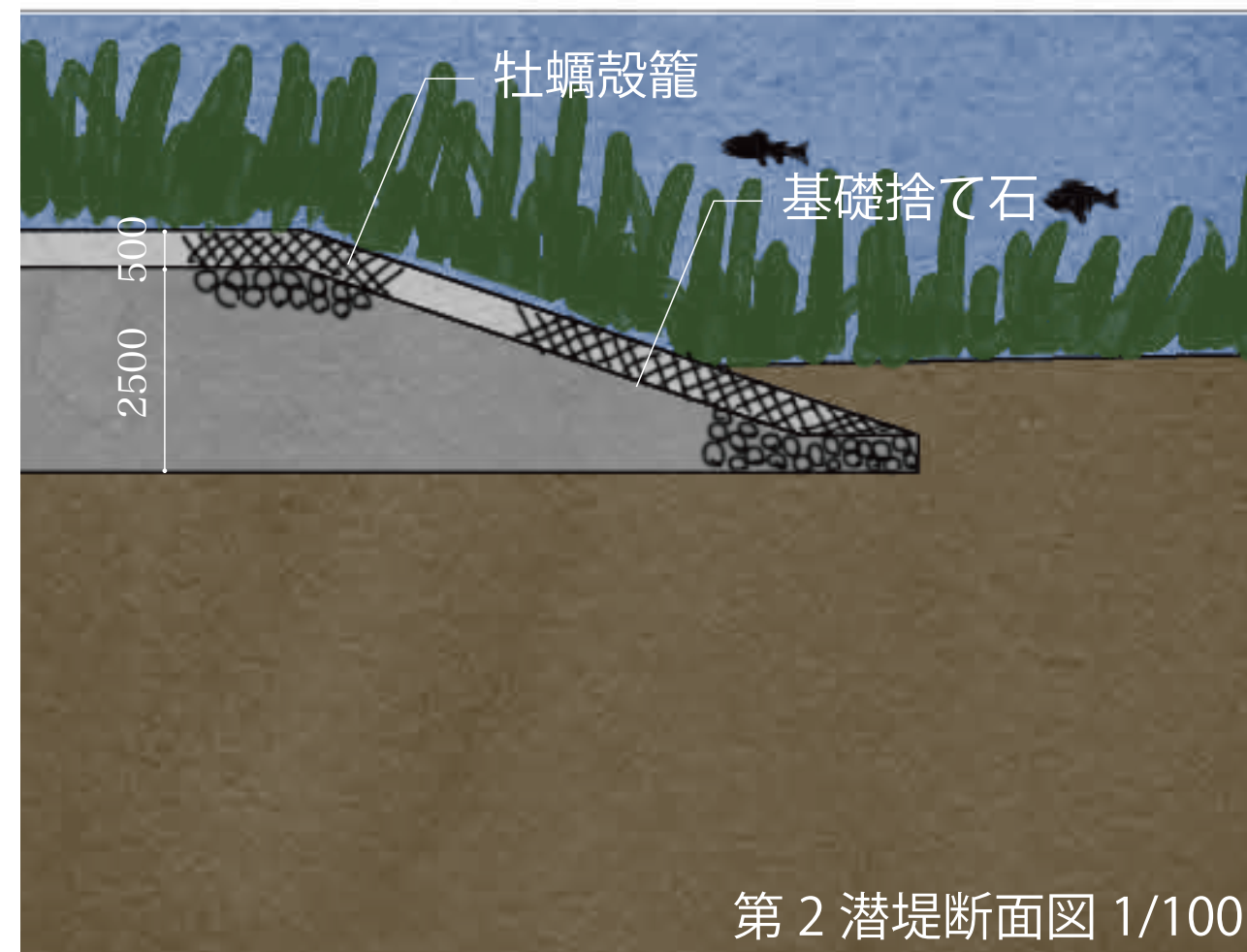


アマモ場

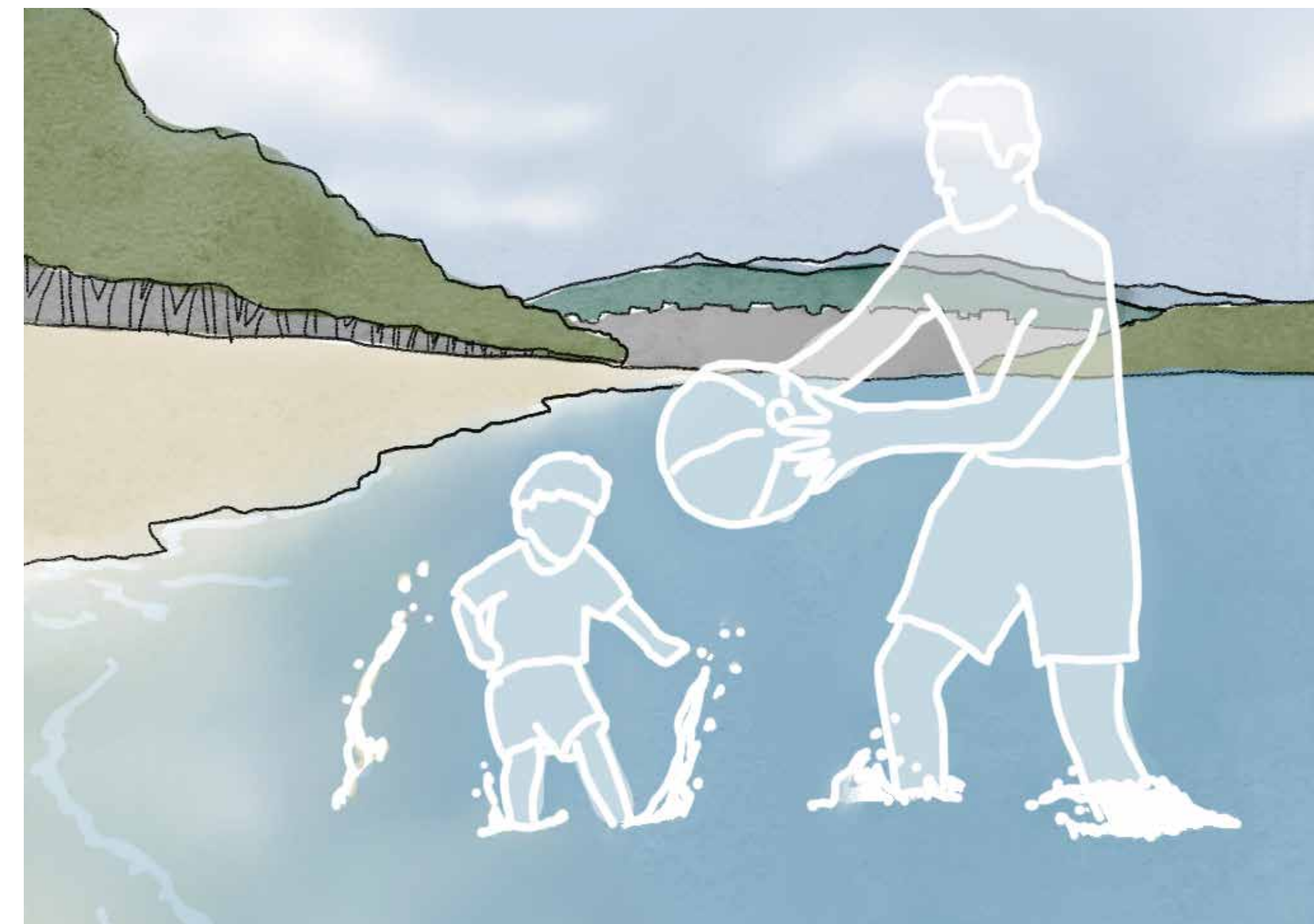
アマモ場：アマモ
コアマモ

活動：海上からの生物観察
水深：2~5m 程度

潜堤による海域レイヤーの中で中間層に位置する海域。内湾的環境と適度な水深は、アマモをはじめとする海草の藻場を作る。生態系を支えるだけでなく、波を抑制する海のカーテンとなる。



第2潜堤断面図 1/100



▲浅瀬で遊ぶ親子

浅瀬 - 入りやすい穏やかな浜辺 -

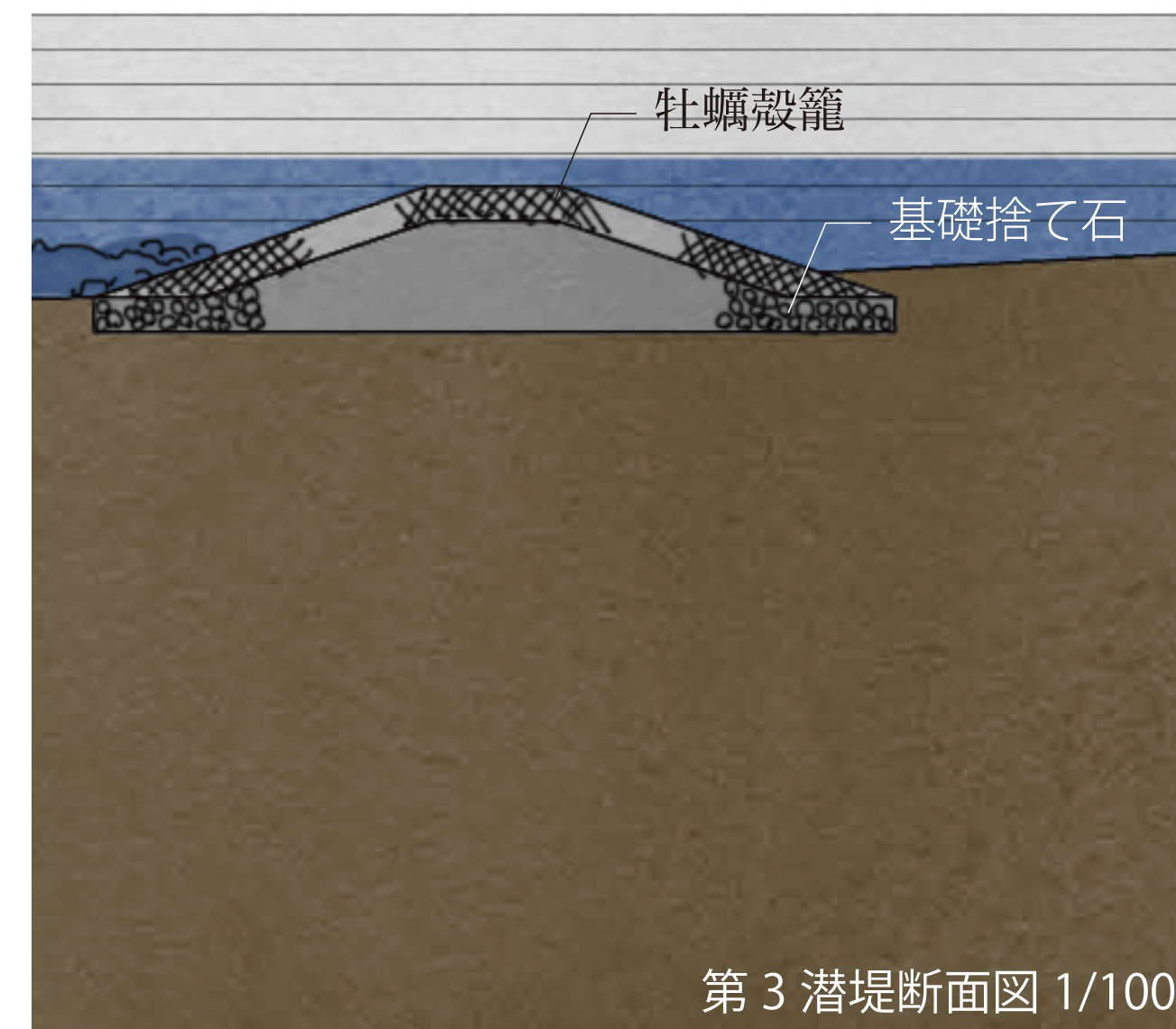


海域の生き物：甲殻類
カニ
ヤドカリ
エビ
フジツボ

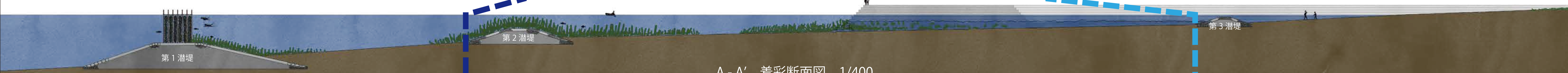
海上の生き物：海鳥
カモメ
ウミネコ

活動：海水浴など
水深：2m 以下

3つの潜堤による波の抑制により、従来の離岸堤の護岸とは異なり、陸に近い海域では波は非常に穏やかで、安心して遊べる環境を生み出せる。海と陸の境界線を近づきやすい空間にする。



第3潜堤断面図 1/100



A-A' 着彩断面図 1/400